

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	道徳教育の研究		
英文授業科目名			
開講年度	2004年度	開講年次	1 - 4 年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	教職科目-教育の基礎理論に関する科目-教育課程及び指導法に関する科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	西野 真由美		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
may@nier.go.jp	

【主題および達成目標】
学校における道徳教育の現状と課題を理解し、これからの学校教育における道徳教育の在り方について自ら考える力を身につける。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書は使用しない。参考文献等は授業の中で適宜指示する。

【授業内容とその進め方】
第1回：道徳教育の現状とその問題点第2回-4回：道徳教育の目標と内容第5回-6回：道徳教育の歴史的変遷第9回-9回：現代の道徳教育理論第10回-：道徳教育の実践事例

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法 学期末の試験により評価する。(b)評価基準 試験問題は、論述形式である。授業で学習した内容に基づいて、学校における道德教育の意義と課題を理解しているか、それを踏まえたうえで、道德教育の進め方について自ら考えようとしているかを評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

道德教育には「これが正しい方法だ」という唯一の答えはない。最も大切なのは、教員をめざす一人ひとりが、「学校教育で子どもたちに学んでほしいことは何か」という学校教育への思いや願いを自覚し、それを批判的に検証することである。講義で扱う道德をめぐる様々なテーマについて、主体的に考える力を育ててほしい。

【その他】